

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和6年12月
海老名市立有馬中学校**

令和6年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語、数学、英語)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

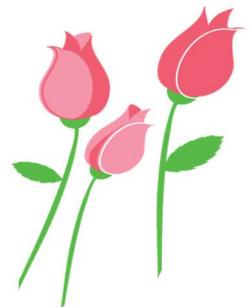
(2)生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和6年4月18日(木)

※児童生徒質問調査について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し合いをする場面において、必要に応じて質問しながら話の内容を捉えたり、資料を用いて自分の考えがわかりやすく伝わるように話したり、意見と根拠など情報と情報との関係について理解したり、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめたりすることができるかどうかをみる。
- ・説明的な文章を読む場面において、文章と図との関係を踏まえて内容を解釈したり、具体と抽象など情報と方法との関係を理解したり、主張と例示との関係を捉えたり、目的に応じて必要な情報に着目して要約したりすることができるかどうかをみる。
- ・物語を創作する場面において、集めた材料を整理して伝えたいことを明確にしたり、文の成分の順序や照応について理解したり、文脈に即して漢字を正しく書いたり、表現の効果を考えて文章を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・短歌を紹介するための資料を作る場面において、表現の技法を理解したり、短歌の内容について描写を基に捉えたり、行書の特徴を理解したりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 物語を書くために集めた材料を、取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択すること。
- 話し合いの中で、発信する際に指し示している資料の部分として適切な部分を選択すること。
- 話し合いの中の発言について説明したものとして、適切なものを選択すること。
- 本文中の情報と情報との関係を説明したものとして、適切なものを選択すること。

◆課題のある点

- 話し合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考え方を書くこと。
- 漢字を書くこと。(みちたりた)
- 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして、適切なものを選択すること。
- 短歌に用いられて表現の技法を説明したものとして、適切なものを選択すること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるように指導します。
- 文脈に即して漢字を正しく書くことができるように指導します。
- 行書の特徴を理解できるように工夫して指導します。
- 短歌の表現技法について理解を深められるように指導します。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・数量及び数量の関係を文字式で表したり、等式を目的に応じて変形しながら数学的に処理したりすることができるかどうかをみる。
- ・事象の特徴を正確に捉えたり、筋道を立てて事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明したりして、図形の性質や関係、数に関する事象を統合的・発展的に考察することができるかどうかをみる。
- ・表やグラフなどを数学的に処理したり、数学的に表現したことを事象に即して解釈したりして、関数の関係やデータの傾向を読み取り、考察することができるかどうかをみる。
- ・簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 問題場面における考察の対象を、明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算をすること。
- 与えられたデータから、最頻値を求めること。
- 二つのグラフにおける、Y軸との交点について、事象に即して解釈すること。
- グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈すること。

◆課題のある点

- n を整数とするとき、連続する二つの偶数を、それぞれ n を用いた式で表すこと。
- 一次関数の意味について理解すること。
- 確率を求めること。
- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- ある条件の下で成り立つ事柄を見だし、それを数学的に表現する活動を充実させる指導をします。
- 一次関数の理解を深めるために、式とグラフの特徴を関連付けて、的確に捉えられるように指導します。
- 確率についての知識の実態を把握し、正しい解釈を指導します。
- 判断の理由を説明するために、データの傾向を的確に捉える活動を充実させる指導をします。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

○「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」について、「当てはまる」と答えた生徒が県の平均を上回っています。また、「国語の授業は好きですか」と、「国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解していますか」について、「当てはまる」と答えた生徒が全国と県の平均を上回っています。

◆本校の課題と思われるところ

○「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」について、「週3回以上」と答えた生徒の割合が、全国と県の平均を下回っています。また、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」について、「当てはまる」と答えた生徒の割合が、全国と県の平均を下回っています。

生活について

◆本校のよかったところ

○「携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」について「きちんと守っている」と答えた生徒の割合が、全国と県の平均を上回っています。また、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」について「当てはまる」と答えた生徒の割合が、県の平均を上回っています。

◆本校の課題と思われるところ

○「朝食を毎日食べていますか」や「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」について、「している」と答えた生徒の割合が、全国と県の平均を下回っています。また、「健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか」について、「している」と答えた生徒が全国と県の平均を下回っています。

今後の具体的な取組について

○有馬中学校の学校教育目標「一人ひとりが生涯にわたって豊かな人生を送るために、自ら学び、自己の人格を磨き、仲間と関わる中で心身を高めあう学校～たくましく しなやかな人に～」をもとに、職員全員でユニバーサルデザインを取り入れ、生徒一人ひとりが主体的な深い学びができる授業を研究し、実践していきます。

○体育祭・合唱祭で生徒自らが計画・運営をすることで、主体性(自立)や協調性(協働)を身につけられるよう指導します。また、3学年ともに協力して活動することにより、社会性を育成します。

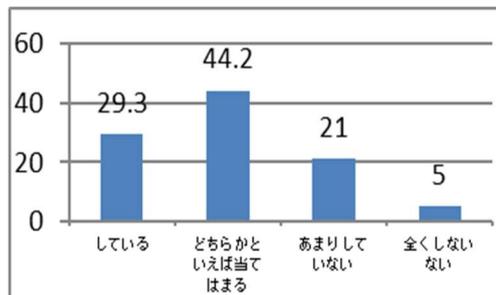
○支援体制を組織的に行い、人間関係や個人の悩みに対して相談活動を充実させ、丁寧に対応していきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1 いつも規則正しい生活を心がけましょう

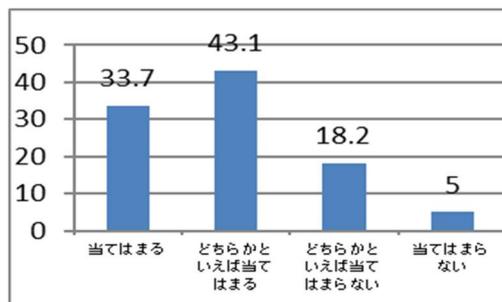
子どもの成長には、「早寝早起き朝ごはん」といわれるように、十分な睡眠、バランスのとれた食事、適度な運動など規則正しい生活習慣が大切です。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

2 自尊感情を高める対話をしていきましょう

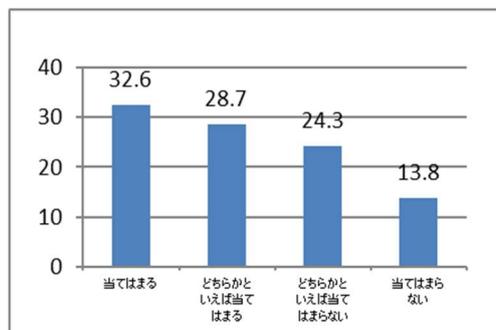
自分に自信を持ち、物事に対して前向きな気持ちで取り組むようになる上で、「自尊心」や「自己肯定感」を持つことは重要です。ご家庭の中でも、自信の高まる対話が持たれると良いと思います。



自分にはよいところがあると思いますか

3 将来の夢や目標について話し合ってみましょう

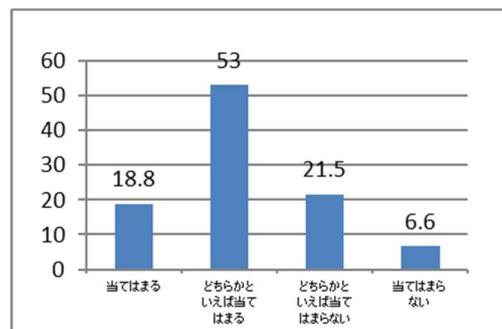
夢や目標を持つと、勉強することを楽しみや意義を感じるようになります。夢や目標を語り合うことで、子どもたちは進むべき方向が見えてきて、日々の生活に活気が生まれることにも繋がります。



将来の夢や目標を持っていますか

4 地域と共にある学校、地域に貢献できる生徒

お住いの地域の「行事」や「自治会活動」、「地域ボランティア」などに積極的に参加してみましょう。成長期の子どもの貴重な「自己成長」や「学びの機会」になると思います。



地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和6年度までの調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

2. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 授業改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

3. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

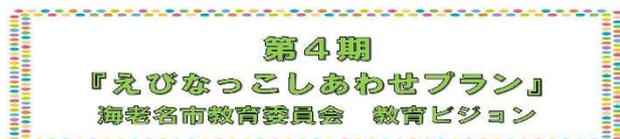
4. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 自治体・学校への伴奏支援の取組
- 学校の ICT 環境整備の推進
- 校務 DX の推進
- 学校の ICT 環境を活用した取組

5. 教師を取り巻く環境整備

- 学校の指導・運営体制の充実
- 教師の育成支援の一体的推進
- 教職員定数の改善や業務支援スタッフの充実に係る支援
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



キーワードは「**包摂性**」
誰ひとり取り残さない教育
実現をめざします



①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③みんなで取り組む学校づくりの推進

≪①授業改善の実践≫

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 子どもたちが主体的に学習に取り組むために、よりよい学習計画の在り方についての研究に取り組みます
- 「協働的な学び」の実践を重点として、授業改善の研究に取り組むとともに、「個別最適な学び」の実践も積み重ねます
- 教職員が主体的に学ぶ研修の場の充実を図ります。

【市の結果についての問い合わせ先】
海老名市教育委員会教育支援課 指導係
電話 046-235-4919